



平成 25 年度助成事業

## 災害に備えて全国のリハビリ関連専門職を組織化！

団 体 名：一般社団法人日本リハビリテーション病院・施設協会

事 業 名：全国災害リハビリコーディネーター養成事業

助 成 テ ー マ：福祉・介護従事者の確保・育成に関する事業

助 成 区 分：全国的・広域的ネットワーク活動支援事業

助 成 金 額：5,620 千円

### ここに注目

- ◆東日本大震災での教訓をふまえて、有事に対応できる人材の育成と、全国のリハビリ支援の専門職のネットワークを構築しました！

### 事業の背景

◆東日本大震災の災害復旧においては、阪神淡路大震災を教訓としてつくられた災害救助法にのっとり、全国からDMATやJMATと呼ばれる災害医療チームが派遣されました。しかし、今回の被害は、沿岸部の広範囲にわたり津波の被害を受けたこと、原発事故という問題を抱えていたこと、また高齢化率が高く、過疎の問題を抱えている地域が多く、医療や介護サービスも少なかったという点は、阪神淡路大震災とは異なった状況でした。このため、長い避難生活により、高齢者・障害者が寝たきりになってしまうという大きな課題がみえてきました。こうした状況に対し、リハビリ医療関連団体とともに、災害救助法が適用されない部分で、リハビリ支援を行ってきました。

◆急激に高齢化が進む現状を考えると、新たな災害に備えるには、救命・救助だけでなく、避難所・仮設住宅等の環境整備や生活不活発に起因する災害関連死を防ぐために組織的に支援をしていく必要性が明らかになりました。そこで、全国規模でリハビリ関連専門職が災害医療チームの一員として組織的に活動できることを目指し、「災害リハビリテーションコーディネーター養成」事業を実施しました。

### 事業概要

◆「災害リハビリテーションコーディネーター養成」の研修は、全都道府県の各地域においてリハビリ関連専門職としての災害医療チームを組織化することを目的にしたもので、各都道府県のリハビリ関連職種代表者を対象に行われました。

◆各回、11～13の地域から医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師・保健師、介護支援専門員、行政職等から構成されるチームが参加しました。2日間にわたり、研修は行われ、災害リハビリテーションに関する基礎知識習得のための講義とともに、災害現場・地域でのコーディネーションの習得を目指した演習が行われました。

◆平成25年度には全国から計210名の受講者が参加しました。研修会開催前後の災害リハビリテーションに関する受講者の理解度のスコア（25項目、100点満点）は、

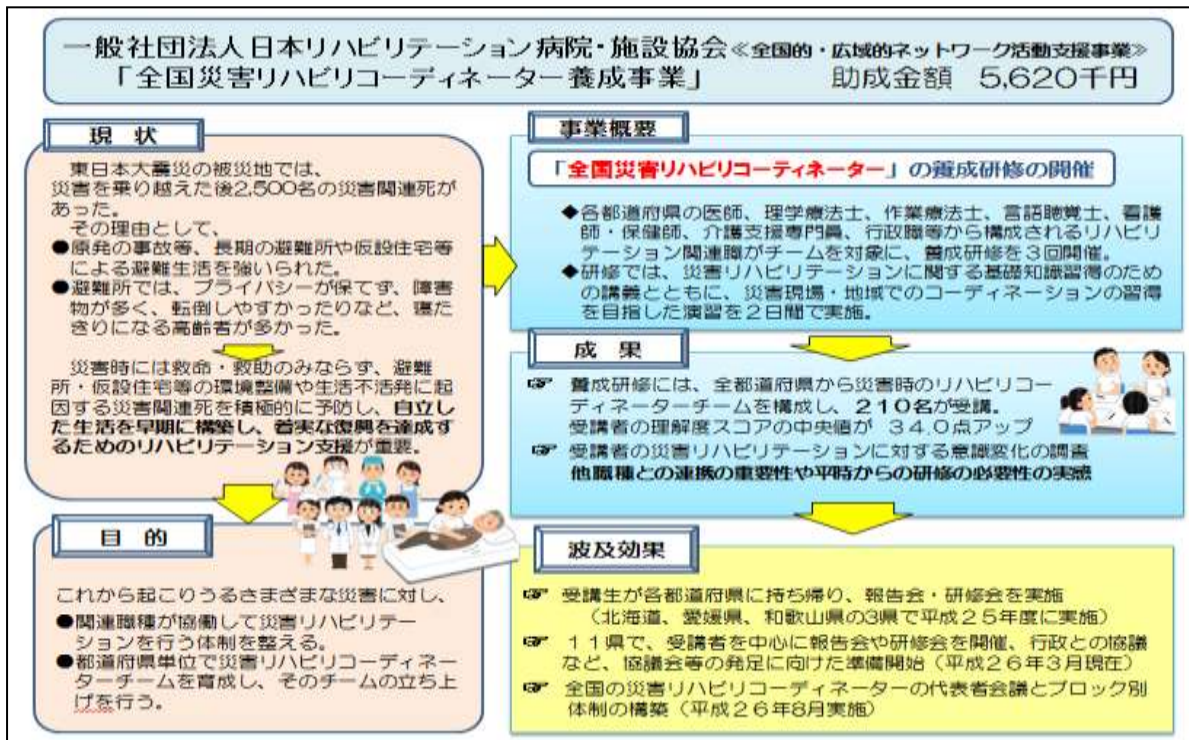


中央値が 18.0 点から 52.0 点へ伸びています。受講者への事後アンケートからは、災害リハビリテーションに対する意識の変化、他職種との連携の重要性の実感、平時からの研修の必要性などが上げられ、意識的な啓発にもつながっていました。また、この研修結果を地域に持ち帰った受講者が中心となって、報告会や研修会も開催されています。さらに新たに協議会を発足するなど徐々に組織化も進んでいます。

### 外部有識者のコメント

高い理念を掲げ、積極的かつ意欲的に事業に取り組んだ事業推進姿勢は高く評価できる。また、東日本大震災以降の実績を基礎に、体系的な研修事業を推進し、専門家の組織化に努力されている点についても高く評価される。

コーディネーションに関する研修内容がやや弱く、ボランティアコーディネーションなど他の分野における実績を活用すべきではないかとの指摘があり、研修の構成について各講義の時間配分が十分ではないという課題も残しているが、全国各地での主体的な取り組みが進みつつあるなど、アウトプット、アウトカム、インパクトのいずれについても十分な成果をあげており、総合的に優れた事業として評価したい。



### 成果物

- ◆ 報告書
- ◆ 研修の様子を収録したデータ

### お問い合わせ先

〒850-0854 長崎県長崎市銀屋町4-11

一般社団法人日本リハビリテーション病院・施設協会

TEL 095-811-2077 HP アドレス : <http://www.rehakyoh.jp/>

